

令和8年

雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和8年3月4日～3月6日】

令和8年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号/氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号/氏名	質問方式	ページ
1	3/4(水) 会派代表質問 終了後	05/石原 忍	一問一答	1～3	10	3/6(金) 9時30分～	04/福間 守	一問一答	21～22
					11		10/多賀 法華	一問一答	22～27
2	3/4(水) 13時00分～	14/中林 孝	一問一答	3～6	12	3/6(金) 13時00分～	12/梶谷 佳平	一問一答	27～29
3		16/矢壁 正弘	一問一答	6～8	13		15/中村 辰眞	一問一答	29～33
4		02/原 良太	一問一答	8～10					
5	3/5(木) 9時30分～	17/佐藤 隆司	一問一答	10～12					
6		03/吾郷 希穂	一問一答	12～13					
7	3/5(木) 13時00分～	06/廣野 祐二	一問一答	13～16					
8		01/竹部 貴博	一問一答	16～18					
9		13/上代 和美	一問一答	18～21					

令和8年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

令和8年2月20日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	5	石原 忍 (一問一答)	1. 令和8年度診療 報酬改定について 2. 市長所信表明に ついて	(1)病院経営の根幹である診療報酬の改定について、12月定例会で診療報酬について協議する委員に就任しておられる市長の見解を伺った。その際、「令和8年度の診療報酬に向けては、現在、厚生労働省の社会保障審議会医療部会においても議論が進められており、私も全国市長会を代表して委員を務めさせていただいている。審議の場では、物価や人件費の上昇に見合う診療報酬の引上げ、医師、看護師等の人材確保に資する処遇改善、地域医療を維持するための医療提供体制の構築などが重要な論点として取り上げられている。現時点では、改定率あるいは具体的な内容について最終的な結論は出していないが、自治体病院を含む医療機関の経営改善と持続可能な医療提供体制の確立に資する方向で議論が進められている。」との答弁であった。令和8年度診療報酬改定については、改定率や具体的な改定項目も示されて来たが、今回の改定内容について、社会保障審議会医療部会の委員を務められている市長はどのように評価しているか、見解を伺う。 (1)市長所信表明の中で、社会体育施設の適量配置については、議会や市民の意見を参考にしながら施設の状況及び将来的ニーズを考慮した市全体の施設総量を示す具体的な方針として「スポーツ施設個別施設計画実施方針」を整理した。今後は、この方針に基づき社会体育施設の総量管理を進めていく。とりわけ掛合体育館については、市民や学校利用において活動の場が制約され支障が生じていること	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 学校給食費について	<p>や、将来的なニーズが認められることから整備の必要性があると判断しているとある。一方で、「スポーツ施設個別施設計画実施方針」では、大東公園体育館については拠点施設と位置付け、すでに解体されている大東文化センターの機能集約に必要な整備や維持管理を実施していくとされているが、所信表明では触れられていない。掛合体育館は整備の必要性に言及し、大東公園体育館については実施方針で必要な整備をするとしながら触れていないことについて、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 交流センターの整備については、幡屋交流センターのみであり、このほかの施設整備については一切触れていないが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 次期一般廃棄物処理施設について、昨年10月から施設整備費の再算定やごみ処理業務を外部に委託した場合の経費試算などを行うとともに、2町とも適宜協議を重ねている。次期一般廃棄物処理に向けた環境整備は、雲南圏域にとって喫緊の課題であるとの認識のもと、最適な仕組みを一刻も早く整えていくとあるが、検討の進捗状況と方向性を出す時期の目途について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 学校給食費については、近年の物価高騰などにより、次年度から単価を引き上げる価格改定を行うとの方針が示された。物価高騰の現状を考えれば引き上げはやむなしと理解する。しかし、保護者負担の方針については再考すべきと考える。小学校については、国の学校給食費の抜本的負担軽減方針に基づき創設される「給食費負担軽減交付金」により、令和8年度について実質負担は0円であるが、令和9年度以降負担が発生する。この負担額は1食当たり62円とさ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>れており、これを令和8年度は市が負担するが、令和9年度には市から保護者負担に移行されている。このことについては到底理解できないが、見解を伺う。</p> <p>(2) 中学校については、令和7年度と令和8年度の保護者負担は同額であるが、令和9年度からは市の負担は一切なくなり、全額保護者負担としている。これにより、現在の1食当たりの保護者負担は309円であるが、改定計画では431円となり122円増加となる。市の補助を廃止し保護者に大きな負担を強いる計画であり、子育て支援策に反する方針であると考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 給食費については、今後も国に対してしっかりと働きかけるとともに、市として支援策の充実を図り、完全無償化を目指して行くべきであり、子育て支援に大きく寄与し人口減少対策にも繋がると思うが、市長の見解を伺う。</p>	
2	14	中林 孝 (一問一答)	1. 子どもの教育と 環境について	<p>(1) 全国学力・学習状況調査について</p> <p>① 昨年4月に行われた学力調査の結果を伺う。</p> <p>② GIGAスクール(タブレットによる学習)がスタートして5年を迎える。タブレットによる学習は学力調査結果にどのように作用したか、見返り(総括)と今後の展望について伺う。</p> <p>③ 学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で深い学び」が小規模校の多い本市に於いて GIGA スクールはどのような形で実践されたか、成果はあったか。</p> <p>④ 本市の学力調査結果をどう分析するか、課題はあるか。課題があれば対策を伺う。</p> <p>⑤ 学力・学習状況調査で小規模校の特徴は見られるか。小規模校の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 「あらどげんなった」について	<p>学習が児童生徒に与える教育上のメリット・デメリットについて伺う。それらを踏まえて学校の統廃合についての所見を伺う。</p> <p>(2) 不登校児童生徒について</p> <p>①令和6年度の本市の不登校児童生徒数(小学生・中学生それぞれ千人あたり)を伺う。</p> <p>②不登校児童生徒数の現状と過去の推移をどのように分析するか。</p> <p>③不登校の原因には学校とは別な問題が潜んでいるのではないかと、所見と対策を伺う。</p> <p>(3) 学校給食の在り方について</p> <p>①給食費の無償化について様々な意見がある。無償化についての所見を伺う。</p> <p>②令和8年度から小学校給食費の負担軽減(いわゆる無償化)がスタートする。国からの給付額と実費の差額の取り扱いについて伺う。</p> <p>③夏休みなど休暇期間中に放課後児童クラブに通う子どもの昼食(弁当)は子どもにとって最適な状況と言えるか、課題はないか。また、休み期間中の給食は可能か。</p> <p>(4) 加藤歆一郎先生と加藤義成先生について</p> <p>①雲南市が誇る先人、偉人(上代タノ、永井隆、加藤歆一郎、加藤義成の各先生)に学び、その教えを学校教育に取り入れる考えはないか。</p> <p>②加藤歆一郎先生と加藤義成先生を顕彰する考えはないか。</p> <p>本市が直面している諸課題について市長の対応方針、考えを伺う。</p> <p>(1) 昨年末、市内に自衛隊の弾薬庫を建設する構想があるとの新聞報道があった。市としての方針はどうか、今後どのように対処する考</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>えか。</p> <p>(2) 昨年 6 月定例会で本市が保有する有価証券の運用状況について質した。その後の運用状況はどうか、今後どうする考えか。</p> <p>(3) 高市総理は「責任ある積極財政」を標榜し実行に移す考えだ。一方、財政がひっ迫している本市はどうあるべきか、「責任ある〇〇財政」の〇〇に入る言葉は何と考えるか。</p> <p>(4) 今まで多くの地域要望が交流センター経由で提出されているが、多くの市民から満足いく回答が得られていないとの不満の声を聞く。市民の不満にどうこたえるか。</p> <p>(5) 市職員の中途退職者や長期休職者がある中で、市役所の業務執行に支障は生じていないか。組織や人員体制の抜本的な見直しが必要ではないか。</p> <p>(6) 昨年 6 月定例会で学校給食の異物混入問題について質した。再発防止に努めるとの答弁だったが、昨年 12 月に再度発生した。何か根本的な問題があるのではないか。</p> <p>(7) 昨年 6 月定例会で加茂こども園の諸施設が老朽化しており幼児保育、幼児学習に支障が出ていると質した。しかし、令和 8 年度当初予算に改善計画が盛られていない。なぜか。</p> <p>(8) 公営企業会計(病院、上下水道)の損益状況が厳しい。こうした中、一般会計からの繰出額が十分とは言えず、諸物価の高騰で厳しい状況に追い込まれている。どうする考えか。</p> <p>(9) 市民の多くが関心を寄せてきた雲南市社会体育施設個別施設計画実施方針案に関するパブリックコメントが募集された。結果はどうだったか、また、それを受けどう対応するか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(10) JR 芸備線が日本で初めての再構築協議会において協議されている。3年を目途に結論を出すことになっているが、沿線住民にとっては厳しい結果になりそうだ。JR 木次線が走る本市も他人事では済まされない、どう対応する考えか。いつまでも様子見、状況を注視、情報収集に努める、だけでは済まされない。どうする考えか。</p> <p>(11) 中心市街地活性化計画は市庁舎周辺、コトリエット周辺、JR 木次駅前のトライアングル構想で始まった。しかし、木次駅前の再開発構想は実施に移されることなく現状では寂れていく一方だ。近接するマルシェリーズの活性化や連担地の空き家対策などの対策も急務だ。また、令和6年9月定例会で蒸気機関車 C56108 の木次駅移転に係る請願が採択されたが、その後の市の動きが全く見られない。どうする考えか。</p>	
3	16	矢壁 正弘 (一問一答)	1. 身近な災害対応 について	<p>1月6日午前、島根県東部を震源とする最大震度5強の地震が発生した。島根県は比較的地震の発生が少なく、住みやすいと感じていたが、思い返せば2000年に鳥取西部、2018年には島根県西部と大きな地震があり、小さい地震を含め数多く発生している。今回は、地震対策を含め身近な災害について質問する。</p> <p>(1) 地震災害の対応について</p> <p>①風水害や島根原発事故に関する避難については避難所等細かく指定してあるが、地震災害 時についての避難所等の取り決めはあるか。</p> <p>②地震時には建物内での避難が危険な時もあるが、校庭など広い野外の避難場所の指定も必要では。</p> <p>③今回、デジタル防災無線システムが機能しなかった。機能しなか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>った原因の説明は受けたが、今後このようなことを起こさないためへの対策は。</p> <p>④地震発生時の保育園、こども園、幼稚園等の避難のタイミング、避難場所についての指定はどのようになっているのか。</p> <p>⑤小中学校については。</p> <p>⑥今回の地震で、子ども達は大きな不安を抱えていると感じる。児童生徒たちへの心のケアについては実施されたか。</p> <p>⑦通学路の安全確認は行われたのか。</p> <p>⑧上下水道の耐震化はどの程度進んでいるのか。</p> <p>(2)火災対応について</p> <p>①全国的に大規模な家屋火災、林野火災が多発している。本市でも春先から農作業が本格化すると畦畔の野焼き作業が始まり、毎年原野火災が多発する時期となる。総務省消防庁では林野火災の防止を目的とする「林野火災注意報」「林野火災警報」の基準を定め林野火災防止の徹底を図るとされた。周知は広域連合・雲南消防署から行われるが、「林野火災警報」には罰則も設けられている。本市としても啓発・告知が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>②地域防災計画の中で、林野火災に強い地域づくりの記載があり、森林所有者への責務が定められている。周知は図られどの程度履行されているのか。</p> <p>③平成 23 年 6 月からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられた。市が管理する市営住宅等には全戸設置されたか。</p> <p>④市内全域での設置率は何パーセントか確認しているか。</p> <p>(3)大雪対応について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①今年の冬は東北を中心に大雪に見舞われている。本市も2月7日から8日にかけて大雪に見舞われたが被害の状況を伺う。</p> <p>②全国的に除雪作業中の事故が多発し、多数の死亡者が出ている。本市においては除雪中の安全についての告知等が行われたのか。</p> <p>③公共施設の屋根からの落雪や市道法面からの雪崩の事故も考えられる。対策は立てられているか。</p> <p>④過去に高速道路「尾道松江線」が通行止めとなり、国道、市道が大渋滞し交通機関が麻痺した。その経験を踏まえ対策は施されているのか。</p> <p>⑤降雪による倒木で各地域で停電が発生した。市道法面等の事前点検が必要では。</p> <p>(4)身近な災害について質問してきたが、どの災害も事前の小さな芽を摘み取れば大きな災害に繋がらないと感じる。そのための対策が一番重要と感じるが市長の見解は。</p>	
4	2	原 良太 (一問一答)	<p>1. 熊対策について</p> <p>2. ふるさと納税について</p>	<p>(1)そもそも熊の個体数は増えているのか。</p> <p>(2)市民が求めていることは、安心して山菜取りに山へ入れ、また山間部の田畑で作業を行ったり、夜間早朝に気兼ねなくジョギングを行ったりできる怯える必要のない平穏な日常であると考えている。(1)の結果に対する根本的解決策はどのようなものが考えられるか。また、その方法を実施するための課題(法律上の制限等足枷となるもの)は何か。</p> <p>(3)現時点で本市において採用できる対策は何か。</p> <p>(1)「ふるさと納税」の令和8年1月末時点での受け入れ総額は。</p> <p>(2)その額となった原因をどのように考えているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 住生活基本計画 (素案) について</p> <p>4. 重層的支援体制 整備事業の実施に ついて</p>	<p>(3) 寄附者の属性はどのような方々であるのか。</p> <p>(4) 目標額確保に向けた令和8年度の方策を問う。</p> <p>(1) 空き家対策として空き家バンク制度を中心とした空き家の利活用推進が重点施策とされている。現行の空き家バンク制度と空き家情報マッチング制度の統合が必要と考えるが市の見解は。</p> <p>(2) 空家等管理活用支援法人制度の導入が示された。現時点でこの法人に期待する役割はどのようなものであるか。</p> <p>(3) 住宅除却後の宅地に対する固定資産税優遇措置制度が始まっているがその効果は。</p> <p>(4) 長期優良住宅の普及促進を重点施策とされているが、何に対しどのような効果を求めた施策であるのか。</p> <p>(5) 子育て世帯の住宅取得への支援(宅地購入補助金)は重点施策として継続されているが、本市にもたらされた効果はどれほどであったと評価しておられるか。</p> <p>令和6年12月定例会において重層的支援体制整備事業実施の必要性(社会福祉法に基づく包括的な支援窓口設置の必要性)について問うた際の市の答弁は「規模が小さく、地域包括支援センターや子ども家庭センター等各分野の相談機関の相互連携が比較的しやすい本市においては費用対効果が明らかではなく設置を見送っている」というものであり、本事業の必要性について改めて伺う。</p> <p>(1) 重層的支援体制整備事業交付金として一括交付を受けた場合と現状の制度毎で支援窓口設置を維持した場合の財源の優位性について比較検討はされているか。またその結果は。</p> <p>(2) 仮に導入する場合、本市が求める事業導入による効果とは具体的</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 生活保護世帯への生活扶助費の追加支給について	<p>にどのようなものであるか。</p> <p>令和7年6月27日の生活扶助費改定に関する最高裁判決を受け、生活保護費の追加支給がされることとなり、本市においても1月臨時会において適正実施推進事業として対象者を把握するためのシステム改修に関する補正予算が組まれたところであるが、例えば当時は保護世帯であったが現在は対象外となった世帯や、当時、この度違法判決を受けた保護基準により申請を行ったが却下となった世帯の取り扱いをどうするか等の具体的対象者の把握方法をどのように行うか伺う。</p>	
5	17	佐藤 隆司 (一問一答)	<p>1. 行政サービス提供における今後の官民連携(PPP)の導入について</p> <p>2. 少子化する中での保育・教育施設のあり方について</p>	<p>厳しい財政事情や施策(事業)方針の課題・問題などにより、当初予算は「骨格予算」となっており、8年度内に改めて「肉付け予算」を示す状況は非常事態とも言える。旧態依然の取組みを見直す過渡期と考える必要がある。</p> <p>(1)PPP方式(パブリック プライベート パートナシップ)の官民連携の現状の取組みと今後の取組みの考えは。</p> <p>(2)PFI方式(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)を導入するとしたらどのような取組みが可能か。</p> <p>(3)DBO方式(デザイン・ビルド・オペレート)は導入の可能性は高いと考えるが見解は。</p> <p>(4)今後どのような取組みが有効と考えられるのか。</p> <p>12月の一般質問で「建物本体の保全のため計画的な整備が必要である。また、入所児童数をもとに公定価格が算出されるため、児童数の減少は事業所の運営に影響し問題の一つである」と答弁された。</p> <p>(1)雲南市子育て支援施設等整備保全計画では、2030年までの計画</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 小中学校の適正規模・適正配置の将来の方向性について	<p>期間内で、教育・保育施設の保全計画は海潮こども園ほか7施設(休園中を除く)である。2月に示された実施計画では大規模改造4施設、長寿命化改修4施設は計画されていないが何故か。</p> <p>(2)特に、鉄筋コンクリート造の長寿命化改修の周期となる築40年の施設は、大東町の西こども園、木次町の斐伊こども園、三刀屋町の三刀屋こども園について、仮に改修を想定した場合の概算事業費の想定は。</p> <p>(3)今年度の「肉付け予算」で示されるのか、あるいは次年度の実施計画に組み込む予定なのか。</p> <p>(4)12月の一般質問で「本市は独自で特区制度を申請して、幼稚園と保育所の一元化をすることが必要だ」と保育に関わる特区制度の質問をしたが、それを改め、幼稚園型こども園を保育所へ統合を検討することがより現実的であると考えた。特に近隣に保育所施設のある木次町の斐伊こども園、三刀屋町の三刀屋こども園の統合は可能性が高いと思うが見解は。</p> <p>第5次雲南省教育基本計画では、学校の適正規模・適正配置の推進については「平成21年度に策定した雲南省立学校適正規模適正配置基本計画に基づき、学校の統廃合などについて保護者・地域との合意を最優先にし、より良い教育環境の整備に努めてきた」とあるが、少子化が進み人口急減の今日、15年以上も前の計画を踏襲されていることは全く時代錯誤であり、現実を直視し、将来を見通してできる行政が方針を示すことが行政の責任と考える。</p> <p>(1)複式学級の解消として「一定規模の人数が必要であるという視点から複式学級の解消が望ましい」とあるが、市内の現状は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)複式学級の解消にどう対処されるのか。</p> <p>(3)免許外指導や非常勤講師の解消として「小規模の中学校では、全ての教科(9教科)を指導する教員の確保が難しいため、全教科にわたる教員配置を可能にする生徒数・学級数を有する学校規模が望ましい。(平成20年度中学校教職員定数配当基準によれば、6学級以上で校長、教頭を含め11人配当)」とあるが市内の現状は。</p> <p>(4)生徒数・学級数を望ましい学校規模にどう対処されるのか。</p> <p>(5)小中学校における望ましい学校規模として「小学校1学級20人～25人、6学級以上(1学年1学級以上)、中学校1学級20人～30人、6学級以上(1学年2学級以上)」とあるが、市内の現状は。</p> <p>(6)新たな取組みとして令和7年度からの小規模特認校制度導入の成果と今後の課題は。</p> <p>(7)令和7年度からの5ヵ年計画の第5次雲南市教育基本計画で「地域の実状等に応じた教育環境の整備」について記されているが、小中学校における望ましい学校規模と学校維持に向けての統廃合も視野に入れた教育環境の整備の方針が必要ではないか。</p> <p>(8)教育環境の方向性や方針が示されない中での、木次中学校の建設は場所が揺らいで定まっていない状況は何が問題なのか。</p> <p>(9)少子化の現状認識と将来を見通した小中学校の教育環境の適正規模・適正配置の方向性(方針)が行政責任として示されていないことが問題で、市全体のまちづくりに影響を及ぼすと考えるが見解を伺う。(例えば、20年後の市内の中学校数のあり方など)</p>	
6	3	吾郷 希穂 (一問一答)	1.雲南市立病院での外国人雇用につ	雲南病院でこの3月1日付けで採用となった外国人看護補助3名について問う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			いて 2. 愛の減塩プロジェクトについて 3. 木次中学校の建替えを始めとする、公共施設、学校の今後について	(1)採用の経緯について伺う。 (2)2月28日までの看護補助の人数と雇用形態について伺う。 (3)外国人看護補助を雇用するのに必要な経費について伺う。 (4)市として外国人雇用について今後の考えについて伺う。 費用対効果、市民の健康状態改善、変化はどのように評価するか。 (1)現在計画が進んでいる木次中学校の現地建替えについて、現在の状況について伺う。 (2)市で取り組む少子化対策として見込める10年後の出生数と、子育て層の移住者を何人見込む計画か。 (3)学校施設整備保全計画では「長期的な視点をもって統廃合、長寿命化など計画を行う。財政負担軽減、公共施設等の最適な配置を実現することが必要」とあるが、計画を策定した4年前と現状の相違はないか。	
7	6	廣野 祐二 (一問一答)	1. 公共施設等総合管理計画について	この度、「雲南市公共施設等総合管理計画(案)」と「同計画実施方針(第3次)(案)」が策定され、パブリックコメントが行われた。同計画では、「保有量、配置の適正化」と「維持、管理の適正化」が基本的な方針とされ、「維持、管理の適正化」については、「事後保全型」から「予防保全型」への転換に努めるとされている。 (1)「保有量、配置の適正化」において、行政財産延床面積は、過去10年間で8,550㎡減少し、380,254㎡となっているが、この面積は、令和7年3月末の人口約34,200人とすると、1人当たり、11.1㎡となり、10年前の9.5㎡/人より17%増加している。当時、同規模自治体は、平均7.3㎡/人で、改善をしなければという方向だったと思う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 教育環境の整備 について	<p>が、現在の状況をどう考えるか伺う。</p> <p>(2)本市の人口は、今後100年間は、確実に減少することが明らかとなっている。公共施設等は、いったん建設してしまうと、30年～60年は、利用されるべき資産であり、現在の市民と、将来の市民のための設備であることを思い描いて建設すべきである。10年後の人口は、第3次雲南市総合計画によると、約27,000人となっているが、この時点での、行政財産延床面積と、1人当たりの面積をどのように考えているか伺う。</p> <p>(3)「維持・管理適正化」について、「予防保全型」に努めるとされているが、現在、「事後保全型」すなわち、壊れてから修理する体制、又は、壊れても適正に修理できていない状況もあると思うが、今後この転換はできると思われるか伺う。</p> <p>(4)公共設備等の老朽化がかなり進みつつあり、それに伴って、修繕、および、長寿命化工事等が必要となっている。新たな建設、大規模修繕は、いわゆる公共工事としての手続きで良いかと思うが、現状復旧のための修繕に、公共工事の手続きで工事をする、莫大な金額となっている。民間で行われる工事と比較して、2倍～4倍の金額となっている。大切な市民の税金を使い、限られた財源の中で、このような不合理は、小規模修繕のシステムで、その限度額を引き上げる等、改善すべきであると思うが、見解を伺う。</p> <p>現在、木次中学校の改築の準備が進められている。少子化と厳しい財政運営の中で、学校の在り方について、一向に、将来の方向性が見えてこない。</p> <p>(1)過去10年間における、子育て世帯の雲南市内または、雲南市外</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. DX 推進について	<p>への住所移転がどの程度あるか伺う。</p> <p>(2)子育て世帯においては、仕事の関係と、子どもの教育環境を最も重要視し、住む場所を検討すると考えられる。子どもの教育環境を考え、子育て世帯のみ住所移転し、ある程度人数が多い学校に入学させている例もあると思うが、認識を伺う。</p> <p>(3)子育て世帯は、その子どもたちの10年先、20年先の将来の幸せのために、一生懸命である。特に、3歳～18歳までの教育環境は、そのあとの人生に大きな影響を与えるものと、私は認識している。これらのことから、本市の教育環境等を見て、子育て期間中のみ住所を移転する世帯や、Uターンしたい世帯が、雲南市まで帰らず、松江、出雲に居を構える等の事例があると認識している。このことが、地域の人口減少、延いては、本市の人口減少に拍車をかけているのではないかと思うが、見解を伺う。</p> <p>(4)本市は、合併20年を経過した。しかし、いまだかつて、旧町村の境界があるように感じる。行政にとっては、この境界があったほうが様々な面で、合理的かと思うが、このことが、新たな市の再構築には、邪魔になっているのではないかと考えている。人口規模約3万人であるこの雲南市を、「雲南市はひとつ」と考え、全体を俯瞰して、教育環境も含め、再構築すべきだと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>本年1月26日に、市の業務のデジタル化(DX)を推進する最高情報責任者(CIO)補佐官が着任された。</p> <p>(1)このCIO補佐官の勤務形態と、その方にどのような仕事を想定されているか、又、どのような成果を期待されているか、CIOである副</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>市長に伺う。</p> <p>(2)CIO 補佐官の会社は、東京都副知事が代表を務める会社であるが、財政の豊かな東京都の考え方が、財政の厳しい雲南市にうまくマッチすると考えているか伺う。</p> <p>(3)市は、高齢化率が約40%であるが、デジタルツールに弱い高齢者が多い中でのDX推進には課題が多いと思うが、その対策は、どのように考えているか伺う。</p> <p>(4)財政の厳しい雲南市においては、行政コストの削減が必要と考える。その手法として、DX化があるが、それ以前に、業務の改善が必要と思うが、市長の見解を伺う。</p>	
8	1	竹部 貴博 (一問一答)	1. スポーツ振興を 人材確保と定住に つなげる具体策に ついて	<p>人口減少や若者流出が続く本市において、スポーツ振興を通じた交流人口の拡大は重要な施策である。一方で、合宿誘致や大会開催などの取り組みが、一過性の交流にとどまらず、雇用の創出や人材確保、定住促進に繋げていく、具体的な検証と仕組みづくりが必要であるとする。</p> <p>(1)スポーツ振興の取組を通じて、本市の人材確保や移住・定住につながった具体的な事例はあるのか。また、その成果の要因と今後どのように雇用や定住につなげていくのか伺う。</p> <p>(2)スポーツで活躍する選手や指導者などの人材が、本市で競技を続けながら働き、長く暮らせるよう市内企業とのマッチングや雇用支援についての考えを伺う。</p> <p>(3)スポーツ人材の受け入れにあたり、地域おこし協力隊制度や特定地域づくり事業協同組合制度を活用することが考えられるが、制度の活用にあたっての課題や問題点をどのように認識しているか。ま</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. オンライン学習支援の現状と今後の取組について</p> <p>3. 島根かみあり国民スポーツ大会に係る進捗について</p>	<p>た、活用を進めるために必要な取り組みは何か伺う。</p> <p>近年、不登校や長期欠席の児童生徒、家庭環境や居住地の事情により、十分な学習機会を確保することが難しい子どもが増えている。また、本市では小規模校による合同のオンライン学習が進められており、こうした取り組みは、場所にとらわれず学びを支える手段として期待されている。</p> <p>(1) 現在どのような取り組みが行われているのか、利用状況や成果をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 家庭の ICT 環境や保護者の理解、負担の違いによって生じる課題をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(3) 教員の負担増や指導体制について、どのような問題があると考えているか。また、教員以外の人材や外部支援を活用する考えはあるか伺う。</p> <p>(4) 今後、オンライン学習を一時的な対応にとどめず、子ども一人ひとりに応じた学びの選択肢の一つとして定着させていくために、どのような方向性で取り組んでいくのか伺う。</p> <p>2030 年に開催される国スポ・全スポにおいて、レスリング、ソフトボール及びローイング競技は本市が会場となる。今後、運営上の課題の把握と競技者への支援など、より具体的な施策が求められる。</p> <p>(1) 本市におけるレスリング、ソフトボール、ローイング各競技の準備状況と、これまでに行われてきた支援の進捗について伺う。</p> <p>(2) 競技役員やボランティアの確保について、人材不足が懸念される中、どのような対策を講じていくのか伺う。</p> <p>(3) 競技運営や選手支援を進める上で民間企業や団体からの支援・協</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>力が重要になると考えるが、現状の取り組みと課題を伺う。</p> <p>(4) 競技会場整備や運営、選手支援などに必要となる財源について、今後どのように確保していくのか伺う。</p> <p>(5) 国スポ開催を一過性のイベントに終わらせず、本市のスポーツ振興や人材育成、地域のまちづくりにつなげていくために、どのようなビジョンと具体策を描いているのか伺う。</p>	
9	13	上代 和美 (一問一答)	1. 「軍事による抑止力」ではなく「平和憲法を中心に据えた対話の構築」を	<p>昨年末から、雲南地区防衛協力会による吉田町への自衛隊弾薬庫、訓練場を誘致する動きがある。この動きは、防衛省が安保3文書に基づき、昨年8月末に長射程ミサイルの当面の配備場所を発表し、2027年度までに70棟、2032年度までにさらに60棟の計130棟増設を行う方針からのものであり、日本全土に配置する流れの中での動きに他ならない。2015年、当時の自公政権によって安保法制が強行され、違憲とされてきた集団的自衛権の行使を可能にし、さらに安保3文書の策定により、敵基地攻撃能力の保有に踏み出した。まさに日本を「戦争できる国」へ変貌させる道である。</p> <p>(1) 2月16日、誘致に反対している市民団体から、市長に反対の意思を示すよう求められている。地域振興策として交付金があったとしても、危険と引き換えになる。何よりも地域に対立や分断が持ち込まれることになってはいけない。正式な誘致の話は来ていない状況にはあるが、有事になれば、攻撃目標となるリスクを背負う。「平和を」の都市宣言をしている自治体の首長として、当該施設を受け入れることに毅然と反対の意思を表明すべきではないか。</p> <p>(2) 雲南市に限らず、弾薬庫をつくるということは他の国にも届くような長射程のミサイルすなわち敵基地攻撃ができるミサイルを置く</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 給食費保護者負担の軽減について	<p>可能性があることを意味する。他の国から戦争を仕掛けられないための抑止力が必要と言われるが、軍事対軍事のエスカレーションは誤認による偶発戦争も起きうる恐ろしさが内在している。軍事による抑止力ではなく、対話と交流による平和の構築が必要であり、平和憲法を生かし、どの国も包摂した平和の枠組みを外交努力で作っていくことこそ日本政府がすべき役割ではないか。「平和を」の都市宣言を行っている市として、「軍事による抑止力ではなく、対話と交流による平和の構築」を国に求めるべきではないか。市長の見解を求める。</p> <p>長年要望していた給食費の無償化が国の制度で小学校において実現されることになった。保護者負担の軽減が一部実現することを喜ばしく思っている。しかし、一食当たりの単価見直しも同時に行われることから、中学校の給食費保護者負担が令和9年度から引き上げられる。</p> <p>(1) 今回のいわゆる給食費無償化、単価見直しによる保護者負担への影響について説明を求める。</p> <p>(2) これまで市は一食当たりの単価を変更せず、物価高騰部分を市の持ち出しで保護者負担の軽減を図ってきた。他自治体が保護者負担の引き上げを行っていたことに比べ子育て支援施策として評価するものである。実際、令和7年度、令和8年度の市負担はいくらになるのか。(幼・こ・保、小学校、中学校別の全体額)</p> <p>(3) 中学校は令和8年度では保護者負担が据え置かれるが、令和9年度から、一食あたり122円、年間では2万3180円負担が増えることになる。これまで市が支援していた部分は令和9年度に全くなくな</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 原発問題について	<p>る計画を示されたが、これまでの支援分を中学校の保護者負担軽減に使うべきである。見解を求める。</p> <p>3月11日で福島原発事故からまる15年が経過する。今なお故郷に帰還できない人が多数おり、事故処理も多くの問題をかかえなかなか進まない状況にある。福島原発事故を決して忘れてはならない。しかし、その後も地震が各地で起こり、今年1月6日には島根県東部を震源とする最大震度5強の地震が発生し、周辺住民の原発への不安が増している。先般、議会全員協議会で中国電力より島根原発2号機で2029年度にプルサーマル発電を始めるとの説明を受けたので、いくつか質問する。</p> <p>(1) プルサーマル発電は使用済み燃料を再処理し、ウランとプルトニウムを加工したMOX燃料を燃やすことになるが、核兵器の原料ともなるプルトニウムをもうすぐ40年を迎える老朽化した2号機で使用することは万が一事故が起これば甚大な被害が想定される。プルサーマル発電はするべきではない。見解を求める。</p> <p>(2) 政府は原発の再稼働、新增設にエネルギー政策の舵を切っているが、増え続ける核のゴミを最終的にどこに処分するのかがまったく明確になっていない中で、たとえプルサーマル発電が高レベル放射性廃棄物の発生量を低減できたとしても、行き場のない廃棄物が増え続けるだけとなり、廃棄物処理のコストは膨大にならざるを得ない。省エネ、再エネの普及で原発ゼロを目指すべきである。市長の見解を求める。</p> <p>(3) 中部電力が浜岡原発再稼働の認可申請で、地震データを改ざんしていたことが、内部告発で明らかになった。内部告発がなければ、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>偽造データで再稼働が認可されていたところである。</p> <p>原子力規制の在り方が問われる深刻な事態である。中国電力もこの間、不正・不祥事・トラブルを起こし続けており、周辺住民の懸念は増している。市民の安心安全を守る立場として、このような国、電力会社の無責任な在り方についてどのような見解をお持ちか。</p> <p>(4)福島原発事故の教訓は、第1に、100%の安全はなく、事故は起こりうること、第2にいったん過酷事故が起これば異次元の甚大な被害が起こることではないか。また、地震大国の日本では想定外の地震は不可避であり、事故を回避するには原発を止めるしかないと考えるが市長の見解を求める。</p>	
10	4	福間 守 (一問一答)	1. 原子力発電所の安全対策と広域避難計画について	<p>中部電力における浜岡原発のデータ捏造が明らかになった。島根原発が再稼働して約1年。先般、プルサーマル計画の説明を聞いた。安全性に不安を覚える市民もいる。市民の安心安全を守る責任を、市として明確に果たす必要がある。</p> <p>(1)中部電力のデータ捏造は原子力発電の根幹を揺るがす行為だ。どのように捉えているか伺う。</p> <p>(2)島根原発の安全確保についてどのように関与し、確認を行っているか伺う。</p> <p>(3)事業者である中国電力からの説明をどのように検証しているか伺う。</p> <p>(4)本市は広域避難計画の対象自治体でもある。一昨年元日の能登半島地震では、道路の寸断により孤立地域が発生し、避難そのものが困難となる事態が生じた。本市においても、同様の事態が起こりうる。広域避難計画の実効性を、どのように検証しているか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 自衛隊訓練場・火薬庫誘致について</p> <p>3. 財政運営と市長のビジョンについて</p>	<p>(5)道路寸断等を想定した具体的な対応策はあるか伺う。</p> <p>昨年末に誘致の動きが報じられた。先日は誘致に反対する市民団体から市長に反対意思を示すよう陳情が行われた。訓練場や火薬庫といった施設の立地は、地域の将来像や安心感に大きな影響を与える問題だ。</p> <p>(1)本市として、誘致の可能性について検討している事実はあるか伺う。</p> <p>(2)市民への説明や合意形成をどのように考えているか伺う。</p> <p>行財政運営は、中長期的な方向性のもとで行われるべきだ。昨年12月定例会で、「明確なビジョンが大切」と申し上げた。当初予算編成について市長は「年末に国が示す地方財政対策を見ながら調整する」と答弁された。</p> <p>(1)今回の地方財政対策をどのように評価しているか伺う。</p> <p>(2)それをどのように本市の予算編成に反映させたのか伺う。</p> <p>市長の任期も残り3年。本市の財政は、決して余裕のある状況ではない。財政構造の改善に向けた具体的な道筋を描き、その判断基準を明確にすることが、市民への説明責任だ。</p> <p>(3)限られた財源の中で、何を優先し、何を見直すのか伺う。</p> <p>(4)目標とする指標や到達点を設定する考えはあるか伺う。</p> <p>(5)この3年間で、財政の立て直しにどのように取り組み、何を成し遂げるのか伺う。</p>	
11	10	多賀 法華 (一問一答)	1. 平和教育について	(1) 昨年8月に、公立小中学校の教員の方達で作られた団体「PIECE of PEACE(ピース・オブ・ピース)島根教師の会」さんが、島根県内に残る戦争関連の場所や、県内関係者の証言をまとめた教	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 自衛隊の火薬庫 と訓練場の誘致に ついて	<p>材「平和学習島根ふるさと読本 私たちのふるさとに戦争があった頃」を発行された。各学校で、今後平和学習を重ね、地域との関わりがある資料に差し替えられるよう、1冊にとじた本ではなく、入れ替えができるファイル形式にされている。「未完成の教材」として、各学校で様々な機会に活用され、最終的には学校ごとの収録内容の異なる教材集となったとき、初めて完成された教材集になるという思いとのこと。本市にも教材の寄附があったと思うが、どのように活用されるのか伺う。</p> <p>(2)この教材を完成させるにあたって、旧制三刀屋中学校十八・九期卒業生の方々が、平成9年に発行された「亡き師と亡き友の御魂に捧ぐ記録「痛恨の青春」」を学習にもちいることができないか。当時の三刀屋中学校の名古屋動員について書かれている本である。雲南市の平和教育に、地元の学校の子どもの出来事を取り入れて欲しい。子どもの権利条約の中に大人は子どもの人権を守るために戦争をしないと明記されているのは、一度戦争が始まれば、子どもたちもまきこまれてしまうからである。戦争は、身近にあったこと、あの時代自分と同じような年齢の子たちがまきこまれたのだということ伝えて欲しいと思うがいかがか。</p> <p>(1)新聞では「雲南市の石飛厚志市長は「活動はあることは承知している。議論の動向を冷静に見ていきたい」と述べるにとどめた」と掲載されていた。先日、総務常任委員会で、部長、副市長がこの件について答弁されていたが、「雲南地区防衛協力会の総会など案内はある。誘致の件については、正式にきいてはいない。そういった話が正式にあった後にそこから協議をして市や議会で議論する」とい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 市の伝統芸能出雲神楽について	<p>う主旨であった。国防や地域振興に関わり、市民生活に多大な影響がある事柄だと思うが、積極的に情報収集されることはないようだ。気にならないのか伺う。</p> <p>(2) 飯南町議会では令和 5 年から 3 回質問があり会議録に載っていた。飯南町は、デメリット、メリットなど情報収集されているようだ。市内には様々な考えをもつ方がいらっしゃるの、情報収集などを積極的に行い、市としてのスタンスを持っておくべきと思うが、いかがか。</p> <p>(1) 2025 年大阪・関西万博で、島根県の石見神楽が披露され、神楽への関心が高まったのではないかと感じている。戦後、日本の伝統芸能である「神楽」は、連合国軍司令部 (GHQ) の占領政策によって、一時的に上演禁止や検閲の対象となった。戦後という逆風の中で、神楽を維持しようと奔走してくださった先輩方々に感謝したい。そうしてつむがれてきた神楽だが、県外の方へ石見神楽ばかりでなく、出雲神楽をきちんと知ってもらうことが大切と考える。市は、石見神楽、出雲神楽の違い、それぞれの魅力をどのように受け取っているか伺う。</p> <p>(2) 文化庁の事業で、令和 3 年度に地域の礎である伝統行事や民俗芸能等が新型コロナウイルス感染症の影響で危機的状況にあるということで、デジタル技術等を活用するなどして全国の祭りの実行委員会や保存会の支援を展開された。本市でも出雲神楽のホームページができたのに、現在更新がされていない。市内の神楽をまとめて発信するなら、市(文化財課と観光振興課が協力するなど)が更新した方が良いのではないかと思うがいかがか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(3)鉄と神楽の文化をテーマとした文化施設古代鉄歌謡館について。</p> <p>①雲南市公共施設等総合管理計画の改定があるが、古代鉄歌謡館は、社会教育系施設のホールとして分類されている。ホールの基本的な考え方は、老朽度及び利用状況等を勘案し、施設のあり方を検討する。維持管理経費に占める公費負担額の割合が高く、施設単独での管理運営の改善が困難な場合は、代替施設への集約化などを含めた検討を行うとある。出雲神楽の夕べ、自主事業の企画展等を地域の文化活動をされている方と一緒に企画されており、地域に根ざした文化芸術活動の推進の役割、歌声サロンや福祉系の映画上映など生涯学習の拠点施設の役割なども果たしている。また、他の2つのホール施設と違って、約250席のホールで、利用料も安く借りやすいという利点がある。市としての古代鉄歌謡館の役割、期待、今後の展望の考え、またそれに対しての市の役割は何かを伺う。</p> <p>②大規模修繕というのは、どの程度の改修のことを考えられているか。コロナの影響で利用者数は、令和2年度に3,041名まで減少、令和6年度は11,900人と徐々にではあるが回復している。が、ホールの空調がここ数年使えず、イベントで使いたい方がおられても空調が使えないということで、特に6月～9月は使用を断念されることもあるよう。去年の秋頃からロビーや2階の空調も使えないと聞いた。イベントの待合やギャラリー展にも影響が出ている。稼働率を伸ばすためにも空調だけでも早めに修理する必要があると思うが、いかがか。</p> <p>③2階の活用はどのようにしたいと考えているのか。2階には神楽面の展示などがある。ビデオテークやオーディトリウムがあるが、機</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>能していない。レーザーディスクがあるようだが、どのような資料映像なのか市は把握されているか。貴重な資料であれば、DVDにするなど引き継いでいくべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(4)雲南神楽フェスティバルについて</p> <p>①雲南神楽フェスティバルは、市内の神楽団体が一堂に会する神楽公演で、ふだん見られない珍しい演目も上演される人気の神楽イベントである。市として20周年記念イベントとして考えていることがあるか。伺う。</p> <p>②記念のイベントという外部からゲストを呼んだりすることが多いかもしれないが、出雲神楽の魅力を伝えるのに、全体のストーリーや流れが分かっている方がより一層楽しめるのではないかと考える。神楽の魅力を一層知ってもらうために、雲南神楽フェスティバル20周年特別企画として、演目を神話のながれに沿って上演できないか。例えば、古事記や日本神話をわかりやすく、面白く解説してくださることで有名な万九千神社の宮司さんに全体シナリオのアドバイスをもらったり、神楽舞と神楽舞の間に解説やつなぎを語ってもらったりなど検討できるのではないかと思う。また演目の順番の提案をしたい。2012年に、日本最古の歴史書「古事記」が編纂されてから1300年の記念で、佐世神楽社中さんが発表された「伊賦夜坂」という創作神楽がある。イザナギとイザナミの黄泉の国の神楽から始まり、その子どものアマテラスの天岩戸隠れにまつわる「香具山」。からの「天岩戸」の神楽。アマテラスが岩戸に隠れてしまった原因になった弟のスサノオが高天原から天降って始まる「八岐大蛇退治」。その子孫のオオクニヌシが国を造る「国造り」。造った国</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				をアマテラスへ譲られる「国譲り」。国譲り後、アマテラスの孫、ニギノミコトが三種の神器をもって国をおさめるために天降る「天孫降臨」。草薙の剣の伝説で有名なヤマトタケルの「日本武」。もちろん他にも演目はあるので、一例ではあるが、このように古事記や神話を元に全体を通じて一つの物語になるイベントを 20 周年という節目で企画してはどうか提案する。いかがか。	
12	12	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 市民の安心安全 について	<p>日本は地震大国であり、近年は地震の発生回数が増加している。南海トラフ地震は、概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生してきた。政府は、今後 30 年以内の発生確率について、2025 年 1 月に「80%程度」と発表した。同年 9 月に「60%～90%程度以上」とする新たな発表をした。1946 年の南海地震で、出雲平野で死者 9 名、家屋全壊 71 棟の被害が生じた。1854 年の安政南海地震でも出雲地方で強い地震による被害があったと言う記録もある。</p> <p>雨風は、ある程度予測できるが地震は、いつ来るか予測できない。地震が起きる「前」、つまり今できる対策として耐震化工事や防災用品の備蓄がある。そして、地震が起きた「後」できることは、火災・漏水を最小限に抑えることや液状化・盛土崩落・火災からの避難である。耐震化率は、全国平均は 90%(R5)、島根県の平均は 81%(R7)であるのに対し雲南市平均は 66%(R5)と全国や島根県平均値より低い。2025 年 5 月改定の“雲南市国土強靱化地域計画”において、令和 7 年度末、耐震化率 90%を目標としている。</p> <p>(1)耐震化率の進捗率と耐震化率向上のため支援はどのようなことを実施したのか伺う。</p> <p>(2)耐震化が進まなければ、地震の二次災害による死者を増やす事に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 公共サービス等の集約化・効率化について</p> <p>3. 財政健全化に向けて</p>	<p>なる。二次災害を減らす支援策が必要ではないか伺う。</p> <p>日本は着実に人口減少に向かっており、本市も同様である。少子化対策によって人口減少に歯止めをかける一方、「人口が減っても一人ひとりの心身の健康や幸福」が損なわれない“住民生活の質を維持または向上させながらインフラや公共サービスを賢く集約して効率化する”考え方が提唱され始めている。これを「スマートシュリンク」と言う。</p> <p>(1) スマートシュリンクの考え方について見解を伺う。</p> <p>(2) スマートシュリンクとコンパクトシティの比較検討は行っているか伺う。</p> <p>(3) 一番の問題は少子化であり、小中学校の統廃合か小中一貫校の選択が必要ではないか伺う。</p> <p>(4) 中心市街地への居住地誘導について</p> <p>スマートシュリンクを念頭に、公共交通の利便性が良い場所に公営住宅等の建設や居住地誘導支援は行っているのか。特に土地開発公社が造成する住宅団地を中心市街地に造るとか中心市街地外に住んでいる市民が中心市街地へ引っ越した場合の支援について伺う。</p> <p>(5) 冬場、希望者に対し空いている市営住宅や雇用促進住宅等へ一時入居し、中心市街地への誘導體験支援はできないか伺う。</p> <p>令和7年2月策定の“中期財政計画”では、令和11年度“実質公債費比率”が単年度で17.9%の試算であった。これは“次期一般廃棄物処理場”建設を含まない数字であり、これを加えると18%を超え「起債許可団体」となり、地方債(借金)の発行に総務大臣の許可が必要となる想定であった。令和8年2月策定の中期財政計画におい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>て“実質公債費比率”は、令和12年度、次期一般廃棄物処理場を含まない単年度計画で17.1%とした。</p> <p>“次期一般廃棄物処理場”の建設計画が見えた時点(令和8年度中)で改めて“中期財政計画”を再策定とのことである。</p> <p>“次期一般廃棄物処理場”の建設を考えると公共投資は控え、借金である地方債の発行を控えなければ負のスパイラルは加速し、起債許可団体へ一直線に向かう可能性がある。</p> <p>(1)実質公債費比率を15%以下に抑えるため、今後、市が行わなければならないことは何か伺う。</p> <p>(2)雲南広域連合及び雲南市・飯南町事務組合へ負担金の支出を行っているが、団体の収支状況は把握しているのか伺う。</p> <p>(3)雲南広域連合及び雲南市・飯南町事務組合の負担金が、今後、本市の財政へどう影響するか。</p>	
13	15	中村 辰眞 (一問一答)	1. スポーツ振興に対する取り組みについて	<p>2030年に開催される、第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会(愛称 島根かみあり国スポ・全スポ)に向け、島根県をはじめ関係各市町で準備が進んでいる。</p> <p>(1)障がい者スポーツに対する取り組みについて</p> <p>①昨年11月に東京都で開催されたデフリンピックでは本市出身のアスリートに対して多くの市民の方々に力強い応援をいただいた。併せて手話に対する理解促進にも大きく貢献できたと思っている。本年6月と9月に開催されるスペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームにも本市在住のアスリートが複数名参加する予定である。障がいがありながらもスポーツに励むアスリートの活躍は、本市の障がい者スポーツの意識向上に寄与すると思う。障がい者ス</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 緊急銃猟について	<p>ポーツに対する市長の所感と、これから大会へ臨むアスリートに対して励ましの言葉を伺う。</p> <p>②障がいの種別は多くあり、一律に考えることはできないと認識している。心臓に疾患がある方から、「雲南市ではスポーツに関わることが少ない。国スポ全スポを目指し機運をあげる意味でも、市民が参加できるスポーツイベントの開催に力を入れては」との声を頂いた。参加型、応援型ともにユニバーサルスポーツにとらわれず、スポーツのイベント企画ができないか見解を伺う。</p> <p>(2) 中高年の体力向上の取り組みについて</p> <p>年を重ねるごとに体力が低下し健康面でも悪影響があるといわれている。夕方から夜にかけて、ウォーキングをしている人を見かける。地域によっては歩くのに都合の良い地形を有するところもある。これからの季節は、歩くのによい季節となる。観光で本市に来た方々に示せるように市内全域を対象とした「ウォーキングマップ」を作成できないか見解を伺う。</p> <p>昨年、北海道から東北地方を中心にクマによる様々な被害が出た。さらに冬眠しないクマの出没が報道された。このクマによる人的被害も発生し、尊い命が犠牲となった。また建物内への侵入も多く発生し生活環境に多大な影響を与えた。</p> <p>(1) 緊急銃猟のガイドラインについて</p> <p>①ガイドラインの中には捕獲対象が限定されているがクマ以外の対象を伺う。</p> <p>②捕獲者は猟友会のみと認識しているが他への委託の有無について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 特別支援教育の 取り組みについて	<p>③捕獲者の必須条件として、「過去3年以内に緊急銃猟の実施のために使用しようとする銃器と同種の銃器を使用して、クマ・イノシシ・又は二ホンジカの捕獲を行った経験を有する者」とあるが、この確認をどのようにするのか見解を伺う。</p> <p>④さらに必須条件として、「1年間に2回以上の銃猟又は射撃の練習をしている事」とある。島根県の当初予算には県外での練習を想定し、移動に関しての補助金が計上されている。銃猟を行う上での練習は県外にしかないのか、特に市内に適切な場所及び施設はないのか伺う。</p> <p>⑤対応マニュアルの作成が望ましいとされているができていないのか、現状を伺う。</p> <p>⑥緊急銃猟は市長権限で発出されるが、現場に公務等により権限者である市長がいけない場合、代理となる権限者委譲者は誰になるのか。</p> <p>⑦緊急銃猟には多くの人員と予算がかかると思うが、予算はどこから出るのか伺う。</p> <p>特別支援教育については、関わる教師の実務経験と関係する児童生徒や保護者とのコミュニケーション力が必要ではないかと思う。</p> <p>(1)進路指導について</p> <p>①児童生徒の進路選択時、教師からの勧めと、保護者の想いが交錯することがあると思う。特別な支援を必要とする子どもの小学校から中学校への進路決定については、保護者の胸中は複雑なものがあると思う。どのようなプロセスを経て進路の決定に至るのか伺う。</p> <p>②進路指導について教師から「特別支援学校へ」と強い勧めがある</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>と聞く。以前から時折聞くが、強く勧めることが今もあるのか現状を伺う。</p> <p>(2) 特別支援学級に在籍する児童生徒には、交流及び共同学習の場となる通常学級がある。特別支援学級在籍の児童生徒が通常学級の児童生徒に与える効果をどのように見ているか見解を伺う。</p> <p>(3) 市内の特別支援学級の担当教員には、豊富な経験に裏付けされた高いスキルを有した方がいる。このような先生は児童生徒、保護者との距離の取り方や児童生徒の心をつかむスキルに長けている。子どもの心をつまめることは相互の信頼関係の表れであり、保護者との信頼関係もしっかり構築されているものと考え。このような先生が講師となり勉強会や授業参観を開催し、経験年数の浅い教員に指導するなど、雲南市の特別支援教育の充実に向けた専門性の高い人材の育成を目指してはどうかと考えるが見解を伺う。</p>	